

| | | | | |
|--------|---|---|----|---|
| 大森第二支部 | 木村健一 | 七 | 六五 | 労働組合論 無産政黨論 労働組合の現勢 |
| 川口支部 | 近藤榮次 木村健一 齋藤健 吉田虎雄 小島四郎 佐藤吉郎 山田廣 渡邊年之助 大槻正秋 | 八 | 五〇 | 第二インターの批判 社会民主主義指導理論 各派労働組合運動の本質論 社会問題概論 失業問題と対策論 時事問題 労働法制 電気資本に關して電燈料金値下の社会的經濟意義 富山滑川に於ける運動 |

右の如き研究会の外に讀書に依る知識の啓蒙も重要である。社会民主主義理論的雜誌として労働經濟社より「労働經濟」が發行されて居る。特に支部の幹部諸君に講義を勧めるものである。

青年部報告

捲き起る争議に東奔西走青年部員の活躍は實に目麗しいものである。殊に頑迷にして傲慢極る永田メリヤス機械株式会社組合の組合敵義に對抗して勃發したる同ストライキに對しては、全青年部員が我が總同盟の名譽の爲め身を賭してある。

斯く多事多端の中に昨年七月芝浦第二支部東京鐵骨橋梁製作所の大争議中犧牲となつた林、森山の兩君は小宵刑務所に入所して其の刑期を（森山二ヶ月、林三ヶ月）を無事に終へて七月二十三日に森山君、八月二十三日に林君は出所し、直ちに森山君は永田争議團にて活動をし、林君は本部に於て激務に従事して居る。

昨年四月の芝浦争議に暴力爲等處罰法の犠牲になつた、

政治部報告

社会民主主義政黨の基礎はいづれの國を見ても労働組合及び其他の經濟團體にある。従つて組合の發展は即ち黨の發展である。我等は黨の發展は組合の發展と並行してなされるものである事を信ずる。又黨の發展をして未組織の處に組合の組織化を有利ならしめなければならぬ。故に必要なに依つて黨の運動をより積極的に爲さねばならぬ事も充分考慮しなければならぬ。

本年は選挙闘争として我が組合の参加したる所は殆ど無いが、黨本部と協力して生活費軽減闘争、乃ち電燈料、家

争議團を應援し奮闘を續けて居る。殊に去る七月二十日永田社長が要切職工十數名を率いて支部長白崎文五郎君を攻撃して重傷を負しめたるに義憤を起した榮壽信君は遂に身を犠牲にして永田社長に復讐を行ひ全治三週間の重傷を負

被獄され、江部君は四ヶ月の刑を終て十二月廿六日、田村君は五ヶ月の刑期を變りなく一月廿六日、富田君は六ヶ月の刑期を變りなく二月廿六日に出所し、其度に川口支部は盛大なる出迎をした。組合本部は尊き犠牲三君の入獄中其の家族に對し全組合員より見舞金を募集して贈呈した。不況益々深刻化し罷業益々勃發する折柄一層各支部青年部の充實を必要とするものである。

賃、水道料等の値下運動の主體となつて勇敢なる活動をなし充分なる成績を上げて居る。各支部は斯く日常闘争を續けつゝ來る昭和七年六月に舉行される府議戰の準備をそれ／＼所屬分會と協力して行はれたい。

組合員にして議員たる者

氏名 支部名 選挙區
熊本 虎藏 本部員 府下大島町
昭和四年五月三十日